【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公表番号】特表2005-503105(P2005-503105A)
【公表日】平成17年2月3日(2005.2.3)
【年通号数】公開・登録公報2005-005
【出願番号】特願2002-549641(P2002-549641)
【国際特許分類第７版】
　Ａ２３Ｋ　 1/16
　Ａ６１Ｋ　 9/16
　Ａ６１Ｋ　 9/52
　Ａ６１Ｋ　31/145
　Ａ６１Ｋ　47/32
　Ａ６１Ｋ　47/34
　Ａ６１Ｋ　47/38
　Ａ６１Ｋ　47/40
　Ａ６１Ｐ　 3/00
　Ａ６１Ｐ　43/00
【ＦＩ】
　Ａ２３Ｋ　 1/16　　３０１Ｄ
　Ａ２３Ｋ　 1/16　　３０５Ｚ
　Ａ６１Ｋ　 9/16
　Ａ６１Ｋ　 9/52
　Ａ６１Ｋ　31/145
　Ａ６１Ｋ　47/32
　Ａ６１Ｋ　47/34
　Ａ６１Ｋ　47/38
　Ａ６１Ｋ　47/40
　Ａ６１Ｐ　 3/00　　１７１
　Ａ６１Ｐ　43/00　　１７１

【手続補正書】
【提出日】平成15年7月31日(2003.7.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
１ｗｔ％から９５ｗｔ％のシステアミン又はその塩と、シクロデキストリン及びその誘導体を含む群から選択された安定剤を含む封入化合物母剤組成物とを含む組成物の、動物の成長を調節するための使用。
【請求項２】
前記動物が複数の胃を有する（multi-gastric）動物である、請求項１に記載の使用。
【請求項３】
前記動物がウシである、請求項２に記載の使用。
【請求項４】
前記動物がブタ、ウサギ、ウズラ、ヒツジまたはニワトリである、請求項１に記載の使用

。
【請求項５】
前記組成物が１ｗｔ％から７５ｗｔ％のシステアミン又はその塩を含む、請求項１に記載の使用。
【請求項６】
前記組成物が１ｗｔ％から４０ｗｔ％のシステアミン又はその塩を含む、請求項５に記載の使用。
【請求項７】
前記組成物が１ｗｔ％から６０ｗｔ％の前記封入化合物母剤を含む、請求項１に記載の使用。
【請求項８】
前記組成物が１０ｗｔ％から４０ｗｔ％の前記封入化合物母剤を含む、請求項７に記載の使用。
【請求項９】
前記安定剤が、シクロデキストリン（－ＣＤ）、メチルβ－シクロデキストリン（Ｍ－β－ＣＤ）、ヒドロプロピルβ－シクロデキストリン（ＨＰ－β－ＣＤ）、ヒドロエチルβ－シクロデキストリン（ＨＥ－β－ＣＤ）、ポリ－シクロデキストリン、エチルβ－シクロデキストリン（Ｅ－β－ＣＤ）及び枝分かれシクロデキストリンを含む群から選択される、請求項１に記載の使用。
【請求項１０】
前記組成物が充填剤、崩壊剤、結合剤、矯臭剤、着香剤及びコーティング物質の少なくとも１つを含む、請求項１に記載の使用。
【請求項１１】
前記組成物がコーティング物質を含む、請求項１に記載の使用。
【請求項１２】
前記組成物が１ｗｔ％から２０ｗｔ％の前記コーティング物質を含む、請求項１０または１１に記載の使用。
【請求項１３】
前記コーティング物質が腸溶性である、請求項１０または１１に記載の使用。
【請求項１４】
前記コーティング物質が、酢酸フタル酸セルロース、酢酸フタル酸澱粉、メチルセルロースフタレート、フタル酸のグルコース又はフルクトース誘導体、アクリル酸及びメタクリル酸コポリマー、ポリメチルビニルエーテル、無水マレイン酸コポリマーの部分的エステル化物質及びホルモゼラチンを含む群から選択される、請求項１０または１１に記載の使用。
【請求項１５】
前記組成物が１ｗｔ％から９０ｗｔ％の前記充填剤を含む、請求項１０に記載の使用。
【請求項１６】
前記組成物が１ｗｔ％から６０ｗｔ％の前記充填剤を含む、請求項１５に記載の使用。
【請求項１７】
前記充填剤が粉末セルロース、澱粉、及び硫酸カルシウムを含む群から選択される、請求項１０に記載の使用。
【請求項１８】
前記組成物が５ｗｔ％から５０ｗｔ％の前記結合剤及び前記崩壊剤を含む、請求項１０に記載の使用。
【請求項１９】
前記組成物が１５ｗｔ％から３５ｗｔ％の前記結合剤及び前記崩壊剤を含む、請求項１８に記載の使用。
【請求項２０】
前記結合剤及び前記崩壊剤が、ヒドロプロピル澱粉、微生物アルギン酸塩、微結晶性セル

ロース及び澱粉を含む群から選択される、請求項１０に記載の使用。
【請求項２１】
前記組成物の風味を高めるために０．０５ｗｔ％から０．３ｗｔ％の前記矯臭剤及び着香剤を含む、請求項１０に記載の使用。
【請求項２２】
前記組成物を顆粒に形成し、それぞれの顆粒が少なくとも１層の前記コーティング物質を含む、請求項１０または１１に記載の使用。
【請求項２３】
前記システアミン又はその塩を前記封入化合物母剤によって周囲から遮蔽した顆粒に前記組成物を形成する、請求項１に記載の使用。
【請求項２４】
前記組成物の前記顆粒それぞれの直径が０．２８ｍｍから０．９０ｍｍまでの範囲である、請求項２３に記載の使用。
【請求項２５】
前記組成物が前記腸溶性コーティング物質によってカプセル化された、請求項１３に記載の使用。
【請求項２６】
動物飼料添加物を製造するための請求項１に記載の使用。
【請求項２７】
動物飼料を製造するための請求項１に記載の使用。
【請求項２８】
前記動物飼料が２５０ｍｇ／ｋｇから７００ｍｇ／ｋｇの前記組成物を含む、請求項２７に記載の使用。
【請求項２９】
１ｗｔ％から９５ｗｔ％のシステアミン又はその塩と、シクロデキストリン及びその誘導体を含む群から選択された安定剤を含む封入化合物母剤組成物とを含む、動物の成長を調節するための組成物。
【請求項３０】
前記動物が複数の胃を有する（multi-gastric）動物である、請求項２９に記載の組成物。
【請求項３１】
前記動物がウシである、請求項３０に記載の組成物。
【請求項３２】
前記動物がブタ、ウサギ、ウズラ、ヒツジまたはニワトリである、請求項２９に記載の組成物。
【請求項３３】
１ｗｔ％から７５ｗｔ％のシステアミン又はその塩を含む、請求項２９に記載の組成物。
【請求項３４】
１ｗｔ％から４０ｗｔ％のシステアミン又はその塩を含む、請求項３３に記載の組成物。
【請求項３５】
１ｗｔ％から６０ｗｔ％の前記封入化合物母剤を含む、請求項２９に記載の組成物。
【請求項３６】
１０ｗｔ％から４０ｗｔ％の前記封入化合物母剤を含む、請求項３５に記載の組成物。
【請求項３７】
前記安定剤が、シクロデキストリン（－ＣＤ）、メチルβ－シクロデキストリン（Ｍ－β－ＣＤ）、ヒドロプロピルβ－シクロデキストリン（ＨＰ－β－ＣＤ）、ヒドロエチルβ－シクロデキストリン（ＨＥ－β－ＣＤ）、ポリ－シクロデキストリン、エチルβ－シクロデキストリン（Ｅ－β－ＣＤ）及び枝分かれシクロデキストリンを含む群から選択される、請求項２９に記載の組成物。
【請求項３８】

充填剤、崩壊剤、結合剤、矯臭剤、着香剤及びコーティング物質の少なくとも１つを含む、請求項２９に記載の組成物。
【請求項３９】
コーティング物質を含む、請求項２９に記載の組成物。
【請求項４０】
１ｗｔ％から２０ｗｔ％の前記コーティング物質を含む、請求項３８または３９に記載の組成物。
【請求項４１】
前記コーティング物質が腸溶性である、請求項３８または３９に記載の組成物。
【請求項４２】
前記コーティング物質が、酢酸フタル酸セルロース、酢酸フタル酸澱粉、メチルセルロースフタレート、フタル酸のグルコース又はフルクトース誘導体、アクリル酸及びメタクリル酸コポリマー、ポリメチルビニルエーテル、無水マレイン酸コポリマーの部分的エステル化物質及びホルモゼラチンを含む群から選択される、請求項３８または３９に記載の組成物。
【請求項４３】
１ｗｔ％から９０ｗｔ％の前記充填剤を含む、請求項３８に記載の組成物。
【請求項４４】
１ｗｔ％から６０ｗｔ％の前記充填剤を含む、請求項４３に記載の組成物。
【請求項４５】
前記充填剤が粉末セルロース、澱粉、及び硫酸カルシウムを含む群から選択される、請求項３８に記載の使用。
【請求項４６】
５ｗｔ％から５０ｗｔ％の前記結合剤及び前記崩壊剤を含む、請求項３８に記載の組成物。
【請求項４７】
１５ｗｔ％から３５ｗｔ％の前記結合剤及び前記崩壊剤を含む、請求項４６に記載の組成物。
【請求項４８】
前記結合剤及び前記崩壊剤が、ヒドロプロピル澱粉、微生物アルギン酸塩、微結晶性セルロース及び澱粉を含む群から選択される、請求項３８に記載の組成物。
【請求項４９】
前記組成物の風味を高めるために０．０５ｗｔ％から０．３ｗｔ％の前記矯臭剤及び着香剤を含む、請求項３８に記載の組成物。
【請求項５０】
前記組成物を顆粒に形成し、それぞれの顆粒が少なくとも１層の前記コーティング物質を含む、請求項３８に記載の組成物。
【請求項５１】
前記システアミン又はその塩を前記封入化合物母剤によって周囲から遮蔽した顆粒に前記組成物を形成する、請求項５０に記載の組成物。
【請求項５２】
前記顆粒それぞれの直径が０．２８ｍｍから０．９０ｍｍまでの範囲である、請求項５０に記載の組成物。
【請求項５３】
前記腸溶性コーティング物質によってカプセル化された、請求項４１に記載の組成物。
【請求項５４】
動物飼料添加物を製造するための請求項２９に記載の組成物。
【請求項５５】
動物飼料を製造するための請求項２９に記載の組成物。
【請求項５６】

前記動物飼料が２５０ｍｇ／ｋｇから７００ｍｇ／ｋｇの前記組成物を含む、請求項５５に記載の組成物。
【請求項５７】
請求項２９から５６までのいずれか１項に記載された組成物を含む動物飼料添加物。
【請求項５８】
請求項２９から５６までのいずれか１項に記載された組成物を含む動物飼料。
【請求項５９】
前記組成物２５０ｍｇ／ｋｇから７００ｍｇ／ｋｇを含む、請求項５８に記載の動物飼料。
【請求項６０】
基礎飼料をさらに含む、請求項５８または５９に記載の動物飼料。
【請求項６１】
システアミン又はその塩を調製する工程と、システアミン又はその塩をシクロデキストリン又はその誘導体と反応容器中で混合する工程とを含む、動物の成長を調節するための組成物の調製方法。
【請求項６２】
前記動物が複数の胃を有する（multi-gastric）動物である、請求項６１に記載の方法。
【請求項６３】
前記動物がウシである、請求項６２に記載の方法。
【請求項６４】
前記動物がブタ、ウサギ、ウズラ、ヒツジまたはニワトリである、請求項６１に記載の方法。
【請求項６５】
システアミン又はその塩とシクロデキストリン又はその誘導体との混合を不活性物質の保護下で実施する、請求項６１、６２または６３に記載の方法。
【請求項６６】
システアミン又はその塩とシクロデキストリン又はその誘導体とを混合しながら、ある期間実質的に２５℃から４０℃の温度で加熱することを含む、請求項６１、６２または６３に記載の方法。
【請求項６７】
システアミン又はその塩とシクロデキストリン又はその誘導体を撹拌して第一の混合物を形成することを含む、請求項６１に記載の方法。
【請求項６８】
前記第一の混合物をメッシュスクリーンで篩い第二の混合物を形成することを含む、請求項６７に記載の方法。
【請求項６９】
前記第二の混合物を４０℃から５０℃の温度で乾燥する工程を含む、請求項６８に記載の方法。
【請求項７０】
前記第二の乾燥混合物を充填剤、崩壊剤及び結合剤の少なくとも１つと混合して第三の混合物を形成する工程を含む、請求項６９に記載の方法。
【請求項７１】
前記第三の混合物を丸めて顆粒を形成する工程を含む、請求項７０に記載の方法。
【請求項７２】
前記顆粒に、酢酸フタル酸セルロース、ポリエチレングリコールテレフタレート、酢酸エチル及び酢酸イソプロピルを含む群から選択される成分で形成されたコーティング物質を施すことを含む、請求項７１に記載の方法。
【請求項７３】
前記組成物が１ｗｔ％から９５ｗｔ％のシステアミン又はその塩を含む、請求項６１に記載の方法。

【請求項７４】
顆粒状の前記組成物の直径が０．２８ｍｍから０．９０ｍｍである、請求項６２に記載の方法。